



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話： 03-3541-5151

担当者の所属・氏名 臨床検査科 上原由紀

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床検査科 上原由紀

代表的な薬剤耐性菌である

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) が

血液から検出された方を対象とした抗菌薬についての研究

1.研究の対象

2007年12月から2014年1月に当院でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA: Methicillin resistant *Staphylococcus aureus*) が血液培養から検出された方

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA: Methicillin resistant *Staphylococcus aureus*)

黄色ブドウ球菌は皮膚に感染を起こしたり、食中毒を起こすことのある細菌ですが、重症例では血液から分離されることがあります。
黄色ブドウ球菌のうちメチシリンという抗菌薬が効かなくなった黄色ブドウ球菌をメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)と言います。MRSAは病院で使用される多くの抗菌薬が効果がなく、MRSAのための薬剤(抗MRSA薬)を用いて治療する必要があります。

2.研究の目的・方法

今回、MRSAが血液から検出された方を対象に、臨床的特徴と検出された菌株の薬剤感受性および感受性測定法を調査することで、MRSA感染症に対して、より適切な治療を選択できるようになること、およびMRSA菌血症で予後不良となる方を早期に発見できるようになることを目的としています。

なお、この調査は診療録(カルテ)に記載されている内容と保存されているMRSA菌株についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》カルテ番号、性別、年齢、発症場所、基礎疾患、抗菌薬使用歴 感染部位など。

《試料》血液培養から検出されたMRSA菌株

4.外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

香川県立中央病院 感染症科 横田恭子